

## 落石発生時の対応実地訓練を行いました

近年これまでの記録を超える降雨量が各地で観測され、特にゲリラ豪雨と呼ばれる局所的な集中豪雨により、佐久建設事務所管内の国道や県道において、崩落や落石等が発生する事象が散見されています。このような落石時等に安全かつ迅速に対応し交通確保を行うため、佐久建設事務所で「仮設落石等防止ネット」を用意しました。

この仮設落石等防止ネットの活用を図るため、9月14日(水) 14時から、佐久市の三条大橋千曲川下流左岸の河川敷及び佐久市市道 U988 号線において、仮設落石等防止ネットを用いた落石発生時等の対応実地訓練を実施しました。

実地訓練には、長野県建設業協会南佐久支部の工事担当者が約 40 名、佐久建設事務所の職員が 7 名参加して、仮設落石等防止網の設置作業を行いました。



①ネットを広げて重ね合わせる



②コイルで結束する



③クレーンで吊り上げる



④設置完了

今後災害時には連携をとり、仮設落石等防止網を用いて、迅速に対応することにより、交通確保を図ることで、地域の安心・安全を保全することを目的としています。